



先月行われた学校公開日には、多くの保護者の皆様や地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。特に、25日の土曜参観、また23日の音楽会リハーサルでは、大勢の方に学級の様子や学年、学校の様子、そして、子どもたちの日常の様子、また、真剣に取り組んでいる、精いっぱい力を発揮している、友だちと力を合わせている様子などをご覧いただきました。

さて、今月の目標は「友だちの輪を広げよう」です。4月から7か月が経過し、現在の学年も残りの日数の方が少なくなりました。しかし、日々の生活において、また、「校内音楽会」や「にの小チャンピオン」、そして「にのっこウォークラリー」などの行事を通して、友だちの新たな一面、今まで気づかなかったすてきな一面にふれることがあると思います。これからの生活の中で、学級や学年、学校における友だち関係のさらなる広がり、深まりが見られることを願っています。

校内音楽会

10月24日(金)、全校児童による校内音楽会が開かれました。今年の音楽会のテーマは、「音楽会 心に響け すてきな音色」でした。10月に入ってから、すてきな音色を響かせようと、音楽の時間はもちろんのこと、朝の時間や休み時間にも楽器の音や歌声が校舎のあちらこちらから聞こえてきました。

さて迎えた当日。音楽委員の児童による「はじめの言葉」で幕を開け、全校児童が手話を交えて「にじ」を合唱した後、学年ごとに、合奏と合唱を1曲ずつ披露しました。どの学年の演奏も、今年のテーマのように、心に響くすてきな音色が会場にあふれ、実に聴きごたえのあるものでした。また、それぞれの学年の子どもの良さ、力が存分に発揮された音楽会でした。



子どもたちは、この音楽会を通して多くのことを学びました。はじめは上手に楽器の音を出すことができない、友だちと音を合わせることが難しいということがあったと思います。しかし、一人一人が努力を積み重ねて練習をし、友だちと心をつなげて演奏した経験は、達成感や満足感、充実感につながったのではないのでしょうか。

また、他学年の演奏を聞く楽しさを感じた、上学年の演奏からこれからの目標を見出したということもあったと思います。

子どもたちに願うことは、この音楽会を通して学んだこと、感じたことを大切にしてほしい、そして、それらを思い起こし、これからの生活に生かしてほしいということです。

お礼の会

10月28日(火)、「お礼の会」を行いました。この会は、登下校の見守り、学習支援、また校内の環境整備や絵本の読み聞かせなどでお世話になっている地域の方に、感謝の気持ちをお伝えする会です。

まず、お越しいただいた方々を全校の子どもたちが拍手と笑顔でお迎えしました。次に、2年生によるはじめの言葉、参加された方々の紹介の後、代表の6年生から次のようなお礼の言葉がありました。

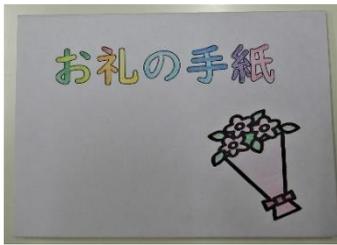
「見守りや読み聞かせ、環境整備など、様々な形で私たちのために活動してくださっていることに心から感謝しています。今後、感謝の気持ちを言葉や態度でしっかり伝えられるようにしたいと思います。これからも地域の皆さんとのつながりを大切にしながら、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと

- ①5年生：合奏「三原色」
合唱「大切なもの」
- ②2年生：合奏「よろこびのうた」
合唱「歌よありがとう」
- ③4年生：合奏「ドラゴンクエスト」(1・4組)
「ルパン三世」(2・3組)
合唱「札幌の空」
- ④1年生：合唱「たいようのサンバ」
合奏「ミッキーマウスマーチ」
- ⑤3年生：合奏「リコーダー物語」
合唱「EVVIVA友だち」
- ⑥6年生：合奏「新時代」
合唱「いのちの歌」



思います。」

その後、参加された方を代表して次のようなお言葉をいただきました。「私たちボランティアにとって、みんなの笑顔やありがとうの言葉は、心の中にぽっと灯る暖かい光です。ほんの少しでも、アンパンマンの生みの親のやなせたかしさんが教えてくれた



正義、それを実践できたらと思います。こらからも、みんなの成長をそばでそっと見守りながら応援していきますね。」



そして、参加された皆さんと全校児童とで校歌を歌った後、3年生による終わりの言葉で会を閉じました。

野外活動教室

10月3日(金)、5年生が県立足柄ふれあいの村での野外活動教室に参加してきました。朝の子どもたちの表情から、これから始まる野外活動教室への期待の高さ、気持ちの高まりがうかがえました。

足柄ふれあいの村に到着した後の最初のプログラムは入村式です。代表の児童からこの野外活動教室のめあての発表があり、足柄ふれあいの村の方から歓迎の言葉をいただきました。

その後、すぐに昼食のカレーライス作りに取りかかりました。まずは、カレーに入れる野菜の調理からです。玉ねぎやにんじん、ジャガイモの皮をむくところからスタート。玉ねぎは手で、にんじんやジャガイモはピーラーや包丁でいねいにむいていきました。同時に、お米を研ぎ、吸水させる作業も行いました。

次は火起こしです。薪のくべ方、火のつけ方、うちわでのあおぎ方など試行錯誤する場面もありましたが、どの班もとてもチームワークよく、スムーズに行っていました。

次は、火の強さや時間に気を配りながらの炊飯とカレー作りです。ご飯炊き担当の子、カレーの具材の炒めや煮込み担当の子などと分担しながら、自分の役割をしっかりと果たし調理をしていました。その一方で、使わなくなった調理器具をいねいに洗う子もおり、ここでもチームワークのよさを見ることができました。



そして、いよいよでき上がったカレーライスを食べる時がきました。その時のうれしそうな充実した表情が何ともいえませんでした。



食後は、用具やかまどなどの片づけです。「借りたときよりもきれいに」そのような気持ちで用具を洗ったり、かまどのまわりをはいたり、灰を片づけたりと、ここでもチームワークのよさがどの班も光っていました。

この日最後のプログラムの退村式。代表の児童から今日1日を振り返る言葉が伝えられ、お世話になったふれあいの村の方にお礼の気持ちを伝えて1日の幕を閉じました。

今回の野外活動教室では、何度もお伝えしたように、5年生の「チームワーク」が光っていました。

図書ボランティアの方による工作会

10月31日(金)の昼休みに図書ボランティアの方々による工作会が開かれました。今回、子どもたちが挑戦した工作は、映画「リメンバー・ミー」の登場人物のお面です。当日、会場となった図書室は、入りきれないほどの子どもたちで熱気にあふれていました。毎回、この工作会には大勢の子どもたちが参加し、友だちと楽しそうに作品を作っている様子が見られます。



作品を完成させた子どもたちは、満足そうな表情を浮かべ、できあがったお面をうれしそうにかぶっていました。中には、次の授業が始まるまでかぶっていた子もいたようです。

